

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年9月10日									
所属学部	工学研究科									
所属学科・専攻	デザイン科学専攻デザイン科学コース				学年	修士2年				
卒業後の予定	就職									
1. 留学先について										
留学先大学名	ENSCI Les Ateliers									
留学先所属学部等	Création industrielle									
留学期間	出発日	2014年8月5日	入学日	2014年9月3日	修了日	2015年1月30日	帰国日	2015年8月29日		
住居	大学(紹介)の寮・アパート		民間アパート		その他(ホームステイからシェアアパートに途中で引っ越しました)					
	通学時間	25分				On campus				
	通学方法	地下鉄、徒歩(時々バス)								
	居室スペース	個室	()人部屋		その他()					
	共有スペース	完全個室	キッチン	トイレ	バス	リビング	その他()			
食事	自炊	50%	学食	0%	外食	10%	その他	40%	()	* %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン OSSMAセット型留学保険								
	大学指定の保険(名称)	OSSMA				強制加入				
	その他									
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)									
	成田 ⇄		パリ		⇄					
2. 留学にかかった費用について										

総費用	120		円	* おおよそでかまいません。					
出处									
自費	貯金	30万	円	アルバイト	0	円	その他	0	円
援助	両親	30万	円	家族・親戚	0	円	その他	0	円
奨学金	JASSO	0	円	その他名称(ヤマハ発動機国際 友好基金)	10万円/月	円	
その他	千葉大学助成金		0	円	その他()	円	
2-1. 財政管理の方法									
渡航時	現金	5万	円	その他()	円		
留学中	海外送金	キャッシング		その他()			
2-2. 各費用の支払い方法									
大学に払った費用		カード							
住居にかかった費用		海外キャッシング							
その他									
2-3. 内訳									
* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください									
費目	外貨金額		円貨金額						
	通貨単位								
渡航費(往復)	円	約15万円		円					
海外旅行保険	円	14,1420円		円					
OSSMA	円	19,440円		円					
査証・在留許可証	円/ユーロ	ビザ手数料 148ユーロ/移民局申請料58ユーロ	ビザ手数料 2万円/移民局申請料 8千円	円					
住居	ユーロ	650ユーロ/月、580ユーロ/月	8万7千円/7万8千円	円					
食費	ユーロ	300ユーロ/月	4万円/月	円					
通学に要する交通費	ユーロ	32,30ユーロ/定期	4.3千円/月	円					
教科書、教材費	ユーロ	材料費 370ユーロ	5万円	円					
その他大学に支払った経費	ユーロ	保険など 200ユーロ(?)	2.7万円	円					

光熱費	住居費用に含まれていた			円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 ***必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。**

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。		種類 ^{ex.正規、職}	単位数	単位互換認定申請の有無	
1	Atelier AZAMBURG - Design for Change	正規	15 ECTS	有	無
2	Workshop Brand Archeology□	正規	3	有	無
3	Studio de création Art plastiques□	正規	3	有	無
4	Review of Architecture, Urban planning and Contemporary Art in Paris□	正規	3	有	無
5	Atelier d'écriture creative	正規	3	有	無
6	Habilitation Son	正規	3	有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法 * 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

授業登録まではオリエンテーションが始まってからかなり余裕がありました。連日各プロジェクトのプレゼンテーションが続き、その間に、留学生同士で何度かミーティングがあり、一人ずつポートフォリオのプレゼンテーションをします。それを踏まえて希望の授業やプロジェクトを担当の先生と相談して決めていきます。□

3-2. 授業内容、方法に関して

プロジェクトは英語のものが毎 Semester ひとつ、あとはすべてフランス語です。その他の授業もほぼフランス語で行われます。英語が話せる先生もいらっしゃいますが、全く話せない方もいるのできちんと聞きましょう。基本的に留学生はプロジェクトを一つ取り、通常授業を3-4つ、短期集中授業を2-3つとります。各プロジェクトにはアトリエという部屋が割り当てられて、学校にいる授業以外の時間をそこで過ごすこととなります。基本的に空き時間はプロジェクトの作業にあてられます。□

3-3. 語学力について

留学前に語学学校に2週間だけ通いましたが、学校が本格的に始まると、自分で勉強する時間も減っていきました。なるべく学校が始まる前に勉強をしておいたほうが良いと思います。留学生はフランス語ができる学生ばかりでした。話せないにしても、日本語よりも母国語がフランス語に近いという学生が多かったので上達は早かった気がします。ただ、わたしのようにほぼ英語でもなんとか生活はできます。□

3-4. 図書館など学内施設について

学校自体が小規模なので図書館は小さいですが、美術書、デザイン書、雑誌の数は豊富で、いるだけで楽しいです。また、マテリアルライブラリーというものもあり、作品作りの素材を選ぶ際に役立ちます。工房はメタル、木、プラスチックに分かれていて機材も豊富です。必ずそれぞれに専門の技術職員の方がいるのでスケッチや図面を書いて持って行って構造の相談などにのってもらえます。□

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

パリの物件は街並みから想像できるようにとても作りが小さく狭いものが多いという印象でした。一人部屋を借りることができますが、たいていの方はルームシェアをしているという印象です。わたしは前半、ホームステイをし、後半ルームシェアの物件に引越しました。地域によっては治安がよくなかったりするのでよく調べましょう。□

4-2. 食生活について

フランスはご飯が美味しいので、特に困りませんでした。ただ、物価は高いのでほとんど自炊で過ごしていた気がします。パリは日本食が手に入りやすく、日本食レストランもたくさんあります。特に日本から持ってくる必要もありませんでした。学校のランチは近くのデリで学割を利用して買っていました。サンドイッチやスープ、パスタのローテーションで乗り切りました。□

4-3. インターネット環境、携帯電話について

ホームステイ先の家にはもともとインターネットがあったのですが、引越してからの家にはなかったので、携帯電話を契約してテザリングでインターネットをしていました。フランスの携帯電話契約は料金が安く、インターネットも無制限なものが多いです。□

4-4. 服装について

パリに住んでいる人は東京に比べるとずっとカジュアルな服装をしていると思います。ENSCIの学生もカジュアルな服装の人が多く、日本にいる時よりも服装に気を使わなかった気がします。”パリ”だからと気張る必要はありません。ENSCIからすぐのマレ地区には古着屋さんがたくさんあるので安くて可愛い服を探すのも楽しめました。□

4-5. 健康管理について

文化の違いか、やはり日本人は衛生面に敏感だなと思いました。こっちはあまり気にしません。公衆トイレや街は汚いので自分の衛生管理には気をつけた方が良さそうです。また、私はパリが合わなかったのか何かと体調を崩すことが多かったです。□

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

パリで日本人の先生がいる病院は郊外にあります。OSSMA付帯の保険では交通費もカバーしてくれたのでタクシーを利用することを保険会社の方にすすめていただきました。便利でした。□

4-7. 課外活動について

美術館へ行ったり、公園でゆっくりしたりするのが好きでした。町歩きもよくしました。また、ヨーロッパ内旅行をたくさんしました。(近隣の国へはバスや電車で安く行けるので)□

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

パリ日本文化会館への参加を勧められましたが、結局行きませんでした。学外のコミュニティに参加したいと思っている方は是非行ってみてください。□

4-9. 日本から持参してよかったもの	
サランラップ、薬類、ドライヤー、ヘアアイロン、文房具、ペンタブなど	
4-10. 日本から持参したが不要だったもの	
化粧品類。フランスの薬局コスメはオーガニックのものがたくさんあり、価格もリーズナブルなので是非試してみてください。	
4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)	
フランスでお店に入る時、出る時はなるべく自分から挨拶するようにしていました。フランスで挨拶は特に大切な文化のようです。何も言わずに入店すると失礼と思われ、店員の対応も悪くなったりするらしいので注意しましょう。(小さなお店の場合) <input type="checkbox"/>	
4-12. 余暇の過ごし方	
旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。	
ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円	
・ベルギー(アントワープ)2万5千円 ・リール(フランス) 10/9-11,12/3-5(プロジェクトの現地調査)食費のみ ・スイス 11/7-11 2万5千円 ・ヘルシンキ、ロヴァニエミ12/19 - 23 5万円 ・ロンドン、アムステルダム12/24 - 12/29 4万円 (・南仏8/12-30(アヴィニオン、イエール、ニース、その他近隣の村)学校が始まる前に語学学校でニースに2週間滞在し、その間近隣の村に小旅行していました(合計額不明)) <input type="checkbox"/>	
その他	* 気分転換やストレス発散法など。
友達や家族がパリに訪問に来てくれたことが何回かありました。 <input type="checkbox"/>	

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

ENSCIはインダストリアルデザインとテキスタイルデザインの二つの学科からなる小さな学校でしたが、学生のモチベーション、能力ともに高く、彼らに驚かされることは多かったです。日本とフランスという全く違う文化の上で、学ぶことは多かったです。自己紹介のしかたなどの小さなところから、プレゼンテーションの進め方、作品の見せ方まで彼らのクリエイティビティに大いにインスパイアされました。また、彼らの作品、デザインという行為そのものに対する情熱は素敵だと思いました。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

私の配属されたアトリエ(プロジェクト)は国際コンペティションに参加するもので、フランス北部のリールという都市へ泊まりでフィールドトリップへ行ったりしました(計2回)。そこでは他の参加学校とワークショップをしたり、テキスタイルアーカイブ施設、コミュニティガーデン、学校などを見学しました。また、同じアトリエ内の別プロジェクトではそのメーカーの工場の見学に行ったりと、活動的で貴重な体験ができたと思います。冒頭でも触れたように、ENSCIはとてもアットホームで、留学生担当の先生はとても親切で授業の相談はもちろん、留学生にとっては面倒でわからないことが多いビザや携帯電話の契約などまで、いつ行っても迅速に対応してくださいました。□

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

プロジェクトや授業選択は慎重にしたほうがよさそうです。とくにプロジェクトは大きく単位数と時間を占めているので、できるだけ全てのプレゼンを見て、その上で、先生と相談して決めるといいと思います。また、留学生同士の情報交換も大切です。フランス語があまりできない場合、他の留学生がいる授業をなるべく選ぶようにしたりすると心強いと思います。□

5-5. 留学を終えて *派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

ENSCIへの留学はアート系の学校の雰囲気や千葉大との違いを体験する上でとても有意義なものだったと思います。学生のモチベーション、能力はやはり今までに体験したことのあるもの以上でした。いい意味で、先生よりも学生から学んだことのほうが多いように感じました。プロジェクトの進め方自体も全く違って、言語の面でも戸惑うことは多かったのですが、楽しんで過ごせたと思います。ヨーロッパということもあり、たくさん旅行をしました。少し無理をした感がありますが、思いっきりいろいろな文化を体験できてよかったです。(以下は後半の学校の報告書に続きます)□

お疲れ様でした